

H27年度 行政改革大綱後期行動計画 取組状況評価 各委員意見まとめ

【総合評価】

A: 高い成果が得られた B: 予定どおりの成果が得られた C: 一定の成果が得られた
D: やや不十分な成果にとどまった E: 成果は不十分であった

I 市民との信頼関係に基づいたまちづくりの推進

取組方針・取組項目	総合評価					評価できる点	今後の課題等	質問	回答
	A	B	C	D	E				
1 情報提供・情報共有の充実									
(1) 行政運営の状況の分かりやすい情報提供・効果的な情報共有		2	3	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・満足度調査後にホームページリニューアルを実施した点。(松岡副委員長) ・HPのリニューアル。広報いこまちの音声ファイルも載せていることは評価できる。(藤堂委員) ・紙の媒体や、Facebookなど、メディアにとらわれない情報発信に努めている。(小林委員) ・様々なメディアを駆使して情報提供を試みている。(塚原委員) 	<ul style="list-style-type: none"> ・形式的なリニューアルを踏まえて、どのような内容でコンテンツをより充実させるかの議論が必要ではないか。(松岡副委員長) ・フェイスブック等様々なツールで情報発信していることは評価できるが、それぞれのツールのターゲットや目的、効果を検証しながら効果的な運用をしていただきたい。(藤堂委員) ・情報の質や量、適切な発信に努めて欲しい。ホームページのUIなど工夫も見られるが、情報量は少ないと感じる。(小林委員) ・満足度という指標で計るなら評価としては現状のままだろう。HPのアクセスの多い少ないは何か基準を設けては？(塚原委員) 		
(2) 情報共有の充実に向けたツールの活用		3	2	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心、環境分野の講座の重要性をより住民に明確にPRすべきではないか。(松岡副委員長) ・アンケートの結果を受けてどうアクションするのかなどを明示して欲しい。Twitterのアカウント数が多すぎて、情報の取捨選択ができない。(小林委員) ・ツイッター等のフォロワー数が多いのか少ないのか基準が必要。(塚原委員) ・どこでも講座の今後の利用促進を図るためには、「PR不足が原因か」、「内容が市民の要求に合っていないのか」要検討。リピーターは毎年同じ講座を聞く必要がないことも考慮する。(一柳委員) ・ツイッターなどの活用は若い人には有効かも。年配者には？(一柳委員) 	<ul style="list-style-type: none"> ①たけまるモニター制度が平成27年9月で終了した理由は？(藤堂委員) ②フェイスブックの運用が(1)に含まれていて、ツイッターが(2)に含まれているのはなぜか。(藤堂委員) ③生駒市のHPの利用者、リピーターについての情報がほしい。(塚原委員) 	<ul style="list-style-type: none"> ①たけまるモニターアンケートは広報広聴課で作成・配信していたが、平成27年10月のホームページリニューアルに伴い、ホームページのアンケートシステムの操作性や集計性が向上し、各課で手軽に作成できるようになったため、平成27年9月で制度を終了した。 ②いこまち宣伝部の取組のひとつとしてフェイスブックがあるため。 ③市HPを訪問した端末数 259,188台(うち、2回以上訪問した端末数 79,598台) ※平成27年10月～平成28年3月 	

H27年度 行政改革大綱後期行動計画 取組状況評価 各委員意見まとめ

【総合評価】

A: 高い成果が得られた B: 予定どおりの成果が得られた C: 一定の成果が得られた
D: やや不十分な成果にとどまった E: 成果は不十分であった

I 市民との信頼関係に基づいたまちづくりの推進

取組方針・取組項目	総合評価					評価できる点	今後の課題等	質問	回答
	A	B	C	D	E				
2 自治基本条例による協働の取組の推進									
(3) 市民自治協議会の設立拡大と運営支援		1	1	3	2	<ul style="list-style-type: none"> 市民自治協議会に向けて活動している地区があることは評価できる。(藤堂委員) 取り組みに高い評価をしている。(小林委員) 支援を継続している。(塚原委員) 	<ul style="list-style-type: none"> 未だ設立されていない状況を見れば、多くの一般市民が市民自治協議会の意義や必要性についてあまり関心を持っていないように感じる。(藤堂委員) プラットフォームの定義がよくわからないが、例えば中地区で行われようとしているものがそれに当たるなら、準備不足でプラットフォームと言えるようなものではないと感じる。(谷中委員) 広報等、情報の周知に努めて欲しい。(小林委員) 結果を出すこと。(塚原委員) 		
(4) 市民、NPOなど協働のパートナーへの支援		2	2	1	2	<ul style="list-style-type: none"> 取組そのものは評価できる(一柳委員) 	<ul style="list-style-type: none"> マイサポいこまの支援対象登録団体も届出率も減少し、あまり広がりが見られない。制度について見直しが必要。(藤堂委員) 広報等、情報の周知に努めて欲しい。(小林委員) 	<ul style="list-style-type: none"> ①今年度申請しなかった理由は？(塚原委員) ②申請件数減少の理由の解析は？「申請事務煩雑？」(一柳委員) 	<p>地域が抱える課題の解決のために行う事業に対して支援を行うということが制度の目的であり、各団体が課題と感じている事が解決された場合は次年度は申請をされない。また、団体の規模が縮小したり、マイサポ対象事業をしなかったりする等、団体側の事情により申請されない場合もあった。</p> <p>なお、申請等の事務の煩雑さについては、申請団体からも意見が出ているため、これまでの提出書類を見直して、平成29年度以降は、従来より書きやすい書式へ改善するよう検討している。</p>
(5) 市民政策提案制度の効果的な運用			1	2	4	<ul style="list-style-type: none"> 市民の意見が取り入れ易く制度の要件が緩和された点。(松岡副委員長) 取り組みに高い評価をしている。(小林委員) 提案制度そのものは良いと思う。(塚原委員) 	<ul style="list-style-type: none"> 提案要件を緩和しても提案がなかった。提案制度があるのは良いと思うが、数値目標を設ける必要があるのか。(藤堂委員) 広報等、情報の周知に努めて欲しい。(小林委員) 「政策」というワードのハードルが高いように思う。(塚原委員) 	<p>市民が制度自体を認知していないのではないか？現状に満足？問題意識の欠如？(一柳委員)</p>	<p>提案がないという状況から、制度の認知不足は否めない。市民の皆さん自ら政策提案をするための情報の提供や相談の場の必要性を感じている。そこで今年は、9月に市民向け説明会を開催し、制度の仕組み及び、市民自ら政策提案することの重要性をともに考える機会とする。</p>

H27年度 行政改革大綱後期行動計画 取組状況評価 各委員意見まとめ

【総合評価】

A: 高い成果が得られた B: 予定どおりの成果が得られた C: 一定の成果が得られた
D: やや不十分な成果にとどまった E: 成果は不十分であった

II 経営的視点に基づいた効率的な行政サービスの提供

取組方針・取組項目	総合評価					評価できる点	今後の課題等	質問	回答
	A	B	C	D	E				
1 事務事業の継続的な見直し									
(6) 総合計画に基づく施策・事業の進行管理		3	3	1		<ul style="list-style-type: none"> ・24年度より1.1%UP(一柳委員) ・満足度という指標を出すことに意味があると思う。(塚原委員) 	<ul style="list-style-type: none"> ・指標の追加など、違う角度からの通知目標を取り入れても面白いと思う。(小林委員) ・生駒市と同程度の市と比較した内容のものを情報提供してみてもどうか。(塚原委員) 		
2 民間活用の推進									
(7) 民間委託の範囲の拡充など民間活力のさらなる活用		1	5	1		<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度の数値目標は達成していないが、これまでの取り組みの継続で一定の成果が得られていると思う。(藤堂委員) ・必要で効果の期待できるものには民間委託の活用は有効でしょう。(一柳委員) 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、推進して欲しいが、ネーミングライツは、施設の名称が変更になることもあり、安易な推進は求めない。(小林委員) ・民間活用になじむものとそうでないものの線引き。(塚原委員) ・無駄、疑問とおもわれるもの:①特定健診を受けてくださいとTELが来る②ジェネリックにしてくださいと封筒がくる。ジェネリックが合うかどうかは医者判断に任せること。③空き家実態調査は効果に疑問④住民票や戸籍証明は個人情報管理の面でコンビニの利用はしていない。(一柳委員) 	<p>これまで実施した民間委託について、何か問題点等はあるか。(藤堂委員)</p>	<p>【市民課窓口業務委託】 各種証明書の交付・不交付決定は、職員がすべき業務であり、委託出来ない事から、委託業者が作成した証明書を職員が検認する業務が増えたため、交付に要する時間が委託前よりも少し長くなっていることを問題点と考えている。しかし、市民に対するアンケートでは、対応スピードについて「早い・とても早い」が78%、「遅い・とても遅い」が0%という結果であったことから、現在の所要時間は許容範囲内と考えている。</p> <p>【エコパーク包括委託】 民間委託によるプラントの運転管理について、これまで大きなトラブルもなく適正に廃棄物処理を実施しており、問題点はないと考えている。単年度の委託契約から長期包括運営業務委託に契約方法を変更したことで、施設への職員常駐がなくなり、担当職員の人数も減となったが、今後、次期の委託契約締結事務や施設の更新を実施する場合等において、市としての技術や経験の不足が懸念される。</p>

H27年度 行政改革大綱後期行動計画 取組状況評価 各委員意見まとめ

【総合評価】

A: 高い成果が得られた B: 予定どおりの成果が得られた C: 一定の成果が得られた
D: やや不十分な成果にとどまった E: 成果は不十分であった

II 経営的視点に基づいた効率的な行政サービスの提供

取組方針・取組項目	総合評価					評価できる点	今後の課題等	質 問	回 答
	A	B	C	D	E				
(8) 指定管理者制度の効果的運用		4	3			・モニタリングを実施している点。(塚原委員)	・引き続き、推進に努めて欲しい。(小林委員) ・モニタリングの内容及びアンケートだけで十分かどうか。(塚原委員)	H27年度のモニタリングの結果は出ているか。(藤堂委員)	9月にモニタリングを実施し、10月頃の公表を予定している。
3 行政資源の有効活用・効率的な管理運営									
(9) 既存公共施設等の活用と長寿命化に向けた中長期的な計画策定		1	2	2	2		・今後も計画的に進めていただきたい。(藤堂委員) ・引き続き、推進に努めて欲しい。(小林委員) ・経年劣化等の構造物の補修費用並びに優先順位。(塚原委員) ・計画性のある目標値の設定が必要(一柳委員)	なぜ、目標値と実績値の差が大きいか。(松岡副委員長)	目標78件のうち、72件を占める公共施設について、平成28年3月に策定した生駒市公共施設等総合管理計画に基づく具体的個別計画として平成28年度に保全計画を策定することにしたため。
(10) 広域連携を活用した事業等による市民サービスの向上		1	3	2	1	・他市町村と協力する。(塚原委員)	・引き続き、推進に努めて欲しい。(小林委員) ・本当に市民の利益となっているのか。(塚原委員)		

【総合評価】

A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた
D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分であった

II 経営的視点に基づいた効率的な行政サービスの提供

取組方針・取組項目	総合評価					評価できる点	今後の課題等	質問	回答
	A	B	C	D	E				
4 環境に配慮した施策・事業の推進									
(11) 環境マネジメントシステムの推進による公共施設の省エネルギー化	1	6				<ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギーの活用は目標の2.5倍の実績だったこと(目標低すぎた?)(一柳委員) スーパーエコスクールは良い取組。(一柳委員) 	<ul style="list-style-type: none"> 道路灯を無電極放電ランプ化したことにより、LEDと同等かそれ以上の効果が得られるなら数値目標の指標名を変更すべき。(藤堂委員) 引き続き、推進に努めて欲しい。(小林委員) 	<ul style="list-style-type: none"> ①道路灯を無電極放電ランプに変更したのはなぜか。LEDと無電極放電ランプの性能、価格等の違いを知りたい。(藤堂委員) ②市民共同発電所2号機、3号機について教えてほしい(設置場所や時期、能力など)。(谷中委員) 	<ul style="list-style-type: none"> ①道路灯を水銀灯から無電極ランプに交換することで、長寿命により照明球交換等メンテナンスの省力化が図れるとともに電気料金が安価になり、CO2の削減を図ることができる。特徴としては、LEDは一般照明に、無電極ランプは高出力照明に適している。また、価格については、LED照明は自然球の代替照明製品は価格が下がっているが、高出力照明が必要な道路灯については無電極ランプの方が安価であり、製品寿命についてもLEDよりも長寿命である。 ②2号機:生駒市立南こども園(平成28年3月完成、出力50kW)、3号機:小瀬保健福祉ゾーン南側法面(平成28年2月完成、出力50kW)
(12) ごみ半減プランの推進	1	2	2	1	1	<ul style="list-style-type: none"> 家庭ごみ有料化による一定のごみ減量効果があった。(藤堂委員) 燃えるごみの削減ができている。(塚原委員) 	<ul style="list-style-type: none"> ごみ半減に向けては、生ゴミの減量、再資源化等に取り組む必要がある。(藤堂委員) 近隣町内のごみステーションでマナー向上を呼びかける注意書きが目につくようになってきたと感じる。一応、到達可能なレベルに達したようなので、今後、さらにごみ削減を推進するには、一人一人がもっと高い意識を持たなければならないと思う。(谷中委員) 引き続き、推進に努めて欲しい。(小林委員) いかに市民により多く協力してもらえるか。(塚原委員) 私の自治会では家庭系燃えるごみは少なくなったように思うが市全体ではまだまだのようですね。分別が細かすぎてわかりにくいときがある。(一柳委員) 	<ul style="list-style-type: none"> ①リサイクルセンターを整備せず、意識啓発を継続とのことだが、その理由と今後の効果の見通しはどうか。(藤堂委員) ②リサイクルセンターの整備はなぜ中止になったのか。(塚原委員) 	<ul style="list-style-type: none"> 今ある清掃リレーセンターの方向性を検討する必要があるため、整備しないことと決定した。今後の見通しとして、リユース市等のごみ減量イベントの拡充を考えている。

H27年度 行政改革大綱後期行動計画 取組状況評価 各委員まとめ

【総合評価】

A: 高い成果が得られた B: 予定どおりの成果が得られた C: 一定の成果が得られた
D: やや不十分な成果にとどまった E: 成果は不十分であった

Ⅲ 自立した自治体への変革

取組方針・取組項目	総合評価					評価できる点	今後の課題等	質 問	回 答
	A	B	C	D	E				
1 財政規律を確保するための財政指標の目標値設定									
(13) 財政計画に基づく経常収支比率等の指標管理	2	3	1	1		・健全な財政運営について継続的な取り組みがなされている。(藤堂委員)			
2 財源確保の取組									
(14) 中長期的な税財源等の安定確保に向けた重点投資	1	1	4	1		・待機児童の解消については、社会情勢の変化等で働きたい女性が増加すると、もともと専業主婦率が高い地域であるため、受け皿がニーズについていけないという現象がしばらく継続する可能性がある。(藤堂委員) ・待機児童減少の目標値を設定する。(一柳委員)	若い住民を増やすためには待機児童数ゼロを目指す必要がある。現在待機児童数はどれくらいか。(一柳委員)	平成28年8月1日現在 待機児童数 63名	
(15) 市税の収納対策の推進	2	4	1			・銀行だけではなく、コンビニから納税できるのは非常に便利。(谷中委員) ・ペイジー対応など利便性の向上は、高く評価できる。(小林委員)	・納税意識のさらなる啓発。(塚原委員)	徴収率の中で、現年課税分と滞納分との内訳を知りたい。(前年度と比較して変化しているのかどうか)(藤堂委員)	平成27年度 現年度分 99.42% 滞納分 12.26% 合計 93.54% 平成26年度 現年度分 99.29% 滞納分 12.59% 合計 92.80%
3 職員定数・給与の適正な管理									
(16) 行政需要を踏まえた職員数の適正管理	1	4	2			・職員定数条例に即した職員数の多様な任用。(一柳委員)	・庁内の組織編成が変わったことにより、職員の配置数が適正に行われているかどうか検証する必要があると思う。(藤堂委員) ・適切な運用に努めて欲しい。(小林委員) ・頭数を揃えれば良いということではない。(塚原委員)	(16)～(19)については、市民から見て、適正に運用されているかどうか判断しにくい。実際に働いている職員に対するアンケート調査等のような参考資料等もあれば有難い。(藤堂委員)	項目に関連するアンケートは行っていない。 【参考】類似団体の27年4月1日現在の職員数 小樽市…1,663人 青梅市…1,481人 海老名市…767人 多治見市…788人 三島市…832人 飯塚市…881人 春日市…395人 (生駒市…821人 8団体に5位)
(17) 人件費の抑制と能力・実績を重視した給与制度の構築		4	2			・任期付嘱託職員など多様性がある。(塚原委員)	・適切な運用に努めて欲しい。(小林委員) ・人材を育てる。(塚原委員)		

H27年度 行政改革大綱後期行動計画 取組状況評価 各委員まとめ

【総合評価】

A: 高い成果が得られた B: 予定どおりの成果が得られた C: 一定の成果が得られた
D: やや不十分な成果にとどまった E: 成果は不十分であった

Ⅲ 自立した自治体への変革

取組方針・取組項目	総合評価					評価できる点	今後の課題等	質問	回答
	A	B	C	D	E				
4 適正な人事管理と職員の能力向上									
(18) 能力と意欲に応じた柔軟な任用制度の構築		4	2			<ul style="list-style-type: none"> ・実績を重視する。(塚原委員) ・取組は評価できる。(一柳委員) 	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な運用に努めて欲しい。(小林委員) ・実績を積むためにどのようなチャンスを与えるか。(塚原委員) 		
(19) 人事評価制度の効果的な運用		4	2				<ul style="list-style-type: none"> ・適切な運用に努めて欲しい。(小林委員) 	組合とはうまくいっているか？(塚原委員)	組合からの意見も参考にしながら制度を運用している。
(20) 職員の資質向上・能力開発の推進		3	3			<ul style="list-style-type: none"> ・民間企業等派遣研修。(塚原委員) 	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な運用に努めて欲しい。(小林委員) ・民間とのギャップをどれだけ埋められるか。市職員としての自覚。(塚原委員) 		
5 機能的で分かりやすい組織・機構の構築									
(21) 重点施策を効果的に推進できる組織機構の構築と柔軟な運営		1	3	3		<ul style="list-style-type: none"> ・取組そのもの(塚原委員) 	<ul style="list-style-type: none"> ・庁内の組織編成の変更が市民から見ても必ずしも分かりやすいとは言えない。(藤堂委員) ・組織横断的なPTなどもよいが、積極的な設置に関しては、既存の組織改編の方が重要ではないかと考える。あくまでPTは補助的・時限的な役割に留めるべきではないか。(小林委員) ・市民へのアピール。私は評価したいが点数が・・・そもそも評価されにくい内容だと思う。ハードルを下げた目標でもどうか。(塚原委員) ・課名の変更は慎重に。目先の変化だけで課名をころころ変更しないほしい。(一柳委員) 		